

「令和6年度修了式を迎えて①」

250324

一年の締めくくりの修了式を迎えました。みなさんは、自分自身の今年一年の成長をどうとらえていますか？また、クラスとして、学年として成長したと感じる部分はどんな点がありますか？私は、卒業式とそこにつなげる三年生を送る会こそが、学校という集団としての集大成の姿であり、成長の証だと思っています。

三年生を送る会は、体育館が温かい雰囲気に含まれると共に、一・二年生の輝く姿、それを受け止める三年生の輝く姿が見られました。一年生の合唱コンで三年生が歌った曲の唱、学年合唱「正解」は、一年生とは思えないハーモニー、短時間での練習とは思えない完成度でした。二年生のダンスは観ている三年生を喜ばせる意図を強く感じました。また、そこからの合唱隊形への移動も見事、積み重ねた練習の確かさを感じました。そして、学年合唱「証」は、学年としての決意を感じるものでした。両学年ともに、三年生への相手意識の強さを感じ、その出来栄えからこれからの成長が楽しみになりました。

卒業式は、前日の予行練習の際に私が伝えた「動」と「静」から生まれる「凜」としたものになりました。壇上からは、会場全体の様子がとてもよく見えます。心静かにじっと見つめる姿、あふれる思いがいっぱいの全校合唱「ふるさと」と母校幸田中の「校歌」、式全体を引き締める「礼や動作」。特に、「ふるさと」の合唱では、多くの卒業生が頬を涙で濡らしながら歌っていました。『凜』とした姿を後輩に見せ、『凜』とした姿を先輩に伝える卒業式。その様子を見た多くの来賓の方々から、「感動の卒業式だった」「今の幸田中が凝縮された卒業式だった」といったお褒めの言葉をいただきました。

さらに付け加えると、先日の生徒会役員に2年生13名、1年生10名という過去最多を更新する生徒のみなさんが立候補しました。頼もしさを感じると共に、令和7年度は生徒会を中心にどんなふうに学校を動かしていくのかがとても楽しみです。